

高城中学校だより

令和6年1月23日（火）校長 飯干 裕二

一日も早い復興をお祈り申し上げます

1月1日（月）元旦の16時10分過ぎに衝撃が走りました。マグネチュード7.6、最大震度7の能登半島地震です。直ぐに、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の記憶が思い出され、言葉を失いました・・・。

能登半島にも、この年末年始にかけ、多くの方が帰省されており、しかも元旦の夕方となれば、家族等で楽しい時間を過ごしていたことだと思います。そんな時間を過ごされている中でのまさかの地震、そして地震による津波・・・。3週間以上たった現在でも、行方不明者は発見されておらず、懸命な捜索活動等が続いています。

私も能登半島地震の発生以降、「明けましておめでとうございます」という挨拶等も自粛させていただき、連日のマスコミ報道に、ご無事を祈りながら注視している状況です。

本校関係者の皆様におかれましては、被災された方にお知り合い等はおられませんか。もしおられましたら、心よりお見舞い申し上げます。そして、私にできることは、微力ながら義援活動等に協力し、唯々、被災地の一日も早い復興、被災された方々が少しでも早く落ち着いた生活に戻れることを祈るだけです・・・。

第3学期が始まりました



1月9日（火）に始業式を行いました。それに先立ち、冒頭で能登半島地震によりお亡くなりになられた方々へ、哀悼の意を表し、全校生徒・職員で黙祷を行いました。

さて、始業式では4名の生徒さんから、3学期の抱負を発表していただきました。4名とも素晴らしい内容の発表でした。一言一言に重みがあり、3学期に臨む強い決意を感じました。本当にお疲れ様でした。

また、私も校長として何点かお話をさせていただいたのですが、特に強調したい内容を抜粋して、以下のとおりお伝えいたします。

いよいよ3学期が始まります。3学期はとても大切な学期です。それは、「まとめと準備」を行う学期だからです。

先ず「まとめ」についてですが、これは学年毎に違います。1年生は中学校に入学してからの1年間のまとめ。2年生は入学後の2年間のまとめ。そして3年生も入学後の3年間のまとめとなります。

次に「準備」についてです。これも学年ごとに違いがあり、次年度への「準備」という意味合いで。1年生は後輩が入学してきます。先輩として、口先だけではなく、行動で模範を示すようにしてください。2年生はすでに学校の顔となっています。高城中学校といえば2年生となります。最上級生の「準備」と学校の顔としての自覚をもってください。3年生は中学卒業後の準備となります。更なるステージへと向かいますが、先ずは目の前の進路実現に向けて、全力を尽くしてください。

さて、この「準備」を行う上で大切なことがあります。これは、全学年に共通しています。それは、「雰囲気をつくる」ということです。自分自身はもちろんのことですが、他者への言動及び行動がとても重要になってきます。どうぞ、このことを意識して3学期に向けて取り組んでください。

ひなた場が実施されました

1月19日（金）に2年生を対象に「ひなた場」が実施されました。

この「ひなた場」とは、昨年度から連携している宮崎県キャリア教育支援センターの事業で、キャリア教育の一環です。これは、対話（人生グラフ、人生紙芝居等）を軸として、生徒と気軽に相談できる地域の大人等の関係を構築し、生徒は今後の人生を深く掘り下げ、社会的自立を促すことを目的としています。当日は、38名もの地域の方々にご来校いただき、生徒のためにキャリア教育を行っていただきました。ご多忙の中、諸準備等も大変だったと思います。本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。



高校入試が始まっています

すでに県外の私立高校入試及び鹿児島・都城工業高等専門学校の推薦入試は始まっていますが、明日（24・25日）から県内私立高校入試が始まり、大半の生徒が受験いたします。インフルエンザが心配されますが、受験生の皆さんには、自分の力を信じ、高城中生としての誇りをもって臨んでください。応援しています。